

製品名: A1Up ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06363**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	54kDa

抗原情報

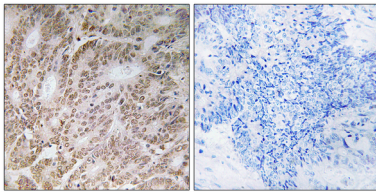
遺伝子名	UBQLN4 UBQLN4; C1orf6; CIP75; UBIN; Ubiquilin-4; Ataxin-1 interacting ubiquitin-like protein; A1Up;
別名	Ataxin-1 ubiquitin-like-interacting protein A1U; Connexin43-interacting protein of 75 kDa; CIP75
遺伝子 ID	56893.0
SwissProt ID	Q9NRR5
免疫原	抗血清はヒト UBQLN4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

背景

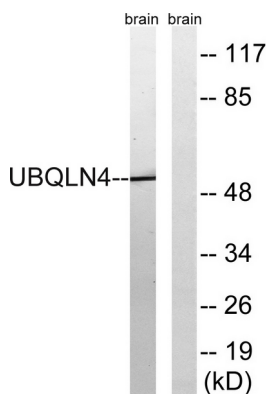
PTM: DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。類似性: UBA ドメインを 1 つ含みます。類似性: ユビキチン様ドメインを 1 つ含みます。細胞内局在: 小胞体と関連する可能性があります。サブユニット: ホモ二量体。SCA1 に結合します。小胞体を標的とするタンパク質のシグナル配列に結合します。組織特異性: 脾臓、腎臓、骨格筋、心臓、および脳全体で高度に発現し、胎盤、肺、および肝臓では低レベルで発現します。PTM: DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。類似性: UBA ドメインを 1 つ含みます。類似性: ユビキチン様ドメインを 1 つ含みます。細胞内局在: 小胞体と関連する可能性があります。サブユニット: ホモ二量体。SCA1 に結合します。小胞体を標的とするタンパク質のシグナル配列に結合します。組織特異性: 脾臓、腎臓、骨格筋、心臓、脳全体に多く発現し、胎盤、肺、肝臓では低レベルで発現します。

研究分野

画像データ



UBQLN4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



UBQLN4 抗体を用いたマウス脳ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。